

# 全国海運組合連合会

## 令和4年度 事務局長・事務局合同研修会

### 京都開催

全国海運組合連合会(全海運)は、2022年10月21日(金)、京都市内のANAクラウンプラザホテル京都に於いて「令和4年度 事務局長・事務局合同研修会」を開催した。

全海運では、毎年1回、標記会議を開催しており、地方組合との懇親を深めている。

今回は、来賓として日本内航海運組合総連合会(総連合会)より、河村俊信理事長、及び林広之総務部長のお二方のご臨席を賜わった。



全海運からは、藏本由紀夫会長、寺岡洋一副会長、宗田銀也副会長の両 2 名、本部事務局 4 名、地方組合・支部より 55 名が出席し、総計 60 名以上が全国から秋晴れの京都に参集した。



藏本会長の開会挨拶で幕を開け、第 1 部・第 2 部、共に有意義な会合となった。

### 【第 1 部】

#### ① 全海運への質問・要望事項等に対する回答

#### ② 河村理事長のご講演

最後、河村理事長へ質疑応答の場面では、質問事項の他に、河村理事長への労いや称賛の言葉も多く聞かれ、今後も内航海運をリードしていく立役者として期待が寄せられた。



## 【第2部】

### パネルディスカッション

#### 【題目】「今後の組合(地方組合・全海運)の方向性」について

- コーディネーター(司会・進行・まとめ役): 藏本会長 1名
- パネリスト(討論者): 河村理事長、林総務部長、寺岡副会長、宗田副会長の4名
- 参加者: 各組合事務局

藏本会長をコーディネーターとして、パネリスト4名と各組合事務局、会場全員参加型のパネルディスカッションを行った。



研修会開催前に、総連合会及び全海運への質問・要望事項等を事前に受付しており、それを基に3つの課題、

- ① 船員不足に関する課題
- ② 組織運営に係る原資の考え方・課題
- ③ 組織見直しに関する課題

をメインテーマとしてディスカッションを行った。



一筋縄では解決できない諸問題ではあるものの、多角的に検証し、様々な組合の立場から意見を出し合った。

## 発言のあった参加者・会議風景



九海連・山口専務



中海連・永見専務



大阪・松野専務



岡山西南・池田事務局長



似島・廣延事務局長



会議風景



会議風景

参加者からは、  
「例年になく貴重な意見交換の場であった」  
「今までで一番充実して良い会議だった」  
と、好評だった。



またたく間に時間が過ぎ、最後は、寺岡副会長の閉会挨拶で幕を閉じた。



この後、会場を移して懇親会を開き、宗田副会長の開会挨拶で幕開けし、続いて河村理事長のご挨拶及び乾杯のご発声があった。



宗田副会長



河村理事長

新型コロナウイルス蔓延防止対策の一環として完全着席型としたが、各テーブル和やかな懇親会となった。

最後には、大阪海運組合・松野佳幸専務理事より中締め挨拶があり、「大阪締め」で締めくくり会場を大いに盛り上げた。



以上